

佳作  
(中学部門)

姫路市立飾磨西中学校 (兵庫県)

1年

みずた  
水田 優吾

ひいおじいちゃんが種をまいてくれた

おばあちゃん

ぼくは「ひいおじいちゃんが種をまいてくれた」という言葉が強く心に残っている。これは、祖母から聞いた言葉だ。ぼくは、今まで自分の行いは全て自分に巡ってくると思って生きてきた。十二年無事に生きてこられたのは自分の力だと思っていた。けれど祖母は曾祖父が亡くなって何十年も経つ今も、曾祖父から、親切にされたという方から、声をかけられると言う。だから祖母も自分の為じゃなくぼくたち子孫の為に行いに気を付けて生活していると言う。ぼくは、ハッとしました。ぼくが今幸せでいられるのは、ぼく一人の力じゃなく先祖から受け継いだからだと感じた。ぼくはまだ十二才だけれど、曾祖父と同じようにたくさん子孫が幸せになれる種をまきたい。